

城辺俳句会

ひとり来て独りで愛でる梅の花
 恋猫の負傷を癒す縁の下
 冬風 海へ鷺の急降下
 学び舎の沈むダム湖や梅真白
 読み返す 荷風作品春炬燵
 恋猫の首におまもり送り出し
 土色でふ保護色憶え冬の草
 いつも飲む薬に足して風邪薬
 立春やくまなく鋤きし地匂ふ
 城辺川柳会

山本 節子
 宮田志賀子
 大浜 紀子
 加納 幸子
 橋本 百代
 吉田 丸美
 井手 幸子
 山田 静恵
 大和田いそ子

嘘つかれ心痛めて花に水
 嘘八百よくも作つた嘘話
 高い物もろたと嘘のうまい人
 大丈夫やさしい嘘で見るベッド
 「嘘じゃない」と約束をした人は逝き
 嘘ならと願ったことも二度三度
 新しくさの葉短歌会
 一本のビニールの傘捨ててあり
 沈丁花咲く道の傍に
 一日でもお前より先に逝きたいと
 夫はしみじみ夕餉の後に
 かじかむ手に息を吹きかけ物を干す
 令和二年の最強寒波に
 さりげなく言葉に出さず病む父を
 思う息子の帰り待ちわぶ

木戸富士子
 藤森 玉子
 沖 佐賀
 本多 暁
 飯田 律子
 本多 一会
 前田 充
 宮下喜久子
 河上 明美
 西崎 文恵

▶俳人をご紹介します。

【名前】 宇多 喜代子さん
 【誕生】 昭和 10 年 10 月 15 日
 【出身】 山口県周南市 (旧徳山市)



宇多さんは昭和 28 年に俳句を始められました。60 年以上第一線で活躍され、現在もエッセイや NHK のテレビ番組などで句を詠んだり、他の方が詠んだ句の講評を行ったりしています。

また、昨年には、独自の俳句の方法を見だし、歴史の中に埋もれた無名の俳人の句を取り上げるなど文学に貢献してきたことが評価され、2019 年に文化功労者として顕彰されました。

はじめまして。赤ちゃん。

2月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

ご冥福をお祈りします。

2月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	満年齢
-----	--------	-----

※上記情報は、広報紙掲載に対して、ご家族等に同意をいただいております。